

これ知っとう？

わが町の宝物 第10回

ひらばる びしゃもんてん
平原毘沙門天

時代は移り変わっても、守り続けていきたい自然・歴史・文化・人…
須恵町の大切な宝物をご紹介します。



平原毘沙門天は四国63番札所で、平原の私有地（民家）の一角にあります。

きれいな生花が供えられ、良く掃除の行き届いたお堂の中央に毘沙門天様が鎮座されています。

毘沙門天様の左側には虚空蔵菩薩様と水子地藏様が、右側には地藏菩薩様2体がまつられています。

お話はこの土地の所有者で管理されている平野 一幸さんに伺いました。

毘沙門天様の年代は不明ですが、かなり古いものと言われています。

むかし山伏が道ばたに転がっていた毘沙門天様を見つけ、地元の人に「この地藏様は、商売繁盛、金運をもたらす尊いものだ」と伝えたため、それから大切にまつられるようになりました。

毎年、正月3日の朝7時から夕方（15時くらい）まで、お祭りが行われており、伊勢神宮からいただいたお札が販売されます。

その際100円を奉納し、代わりにいただいた50円玉を財布に入れておくと、その年はお金に不自由しないと伝えられています。

翌年には古いお札と50円玉を返納し、供養してもらい、新しいお札をいただいでいくのだそうです。

経典は「般若心経」、「真言」とのことです。

【真言】毘沙門天

おんべい

しらまんだや

そわか



春には見事なツツジが咲きます。



階段をのぼったところにお堂があります。

平野一幸さん（甲植木区）
にお話を伺いました。

■平原毘沙門天
所在地：須恵町大字植木1321番地19

我町では道路改良や水洗化工事等のインフラ整備が思うほど進まない。それというのも全国で発生する災害復旧に予算が優先するのだから仕方がない。最近の台風被害も日本のほぼ全土に及ぶことが多く、もはや対岸の火事とは言ってられない。教育や福祉問題を重視したいのはやまやまだが、安心安全のまちづくりを目指すのなら、更なる備えが必要になる。

そこで防災会館や倉庫の増設、自主防災組織の設立と訓練・企業との連携契約に加えて役場女性職員による炊き出しの訓練というのも行われている。また防災マニュアルの原発被害等を盛り込んだ改訂も今回なされた。

こうして徐々に備えは整ってきてはいるものの、その限度もない。まずは自身の命は自身で守れるよう準備などの再確認をすることが必要不可欠になる。災害は一瞬の出来事だということ意識に留め置きたい。

合屋伸好

編集後記

発行責任者

議長：三角 良人

広報特別委員会

委員長：今村 桂子

副委員長：白水 勝元

委員：合屋 伸好

委員：三角 栄重